

令和5年4月7日



さかもと



さわやかに かがやいて もくひょうもって ともにあゆもう

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sakamoto/>

横浜市立坂本小学校 校長 荒井 正史

朝晩はまだ肌寒さを感じますが、日中は日差しが心地よく感じるようになりました。本日、始業式・入学式が行われ、1年生99名を加えて全校児童677名のスタートとなりました。お子さまの入学、進級、おめでとうございます。

坂本小学校の子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように、主に次の3つのことをめざしていきたいと考えています。一つ目は、子どもたちが多くの教職員に見守られていると実感できる学校です。昨年度に引き続きチーム学年経営を行い、すべての学年で一部教科担任制を敷きます。また、それぞれ低・中・高学年ごとに主幹教諭をブロックリーダーに置き、子どもたちの授業や学年研などにかかわります。子どもたちにとっては、担任の先生だけでなく、学年の先生や専科の先生、ブロックリーダーの先生などにかかわることによって、多くの教職員に見守られていると実感できる学校をめざしていきたいと考えます。二つ目は、子どもたちが、地域、保護者、関係諸機関など多くの方々に見守られていると実感できる学校です。昨年度も、「ふれあい教室」や「見守り隊」、「ふんわりの会」や裁縫・調理実習等の学習ボランティア、久保智さんによるピアノ演奏など、多くの地域、保護者、関係諸機関の方々からご支援をいただきました。今年度も、子どもたちが多くの地域、保護者、関係諸機関の方々とかかわることができるように、学校・地域コーディネーターの方々を中心に地域学校協働教育を広めていきたいと考えています。具体的には、英語などの学習ボランティアの拡充や、地域に練習場があるサッカーJリーグの横浜FCさん、横浜国立大学の学生の方々など、さまざまな地域・保護者の方々や団体の皆さまとの連携を考えており、子どもたちが多くの地域、保護者、関係諸機関の方々とふれ合う機会を設けることによって、多くの方々に見守られている、支えられていると実感できる学校をめざしていきます。三つ目は、教職員が日々子どもたちと笑顔で向き合うことができる学校です。報道等でもあるように教職員不足は深刻で、その背景にはさまざまな理由があると実感しています。教職員が疲れた顔をしていれば、子どもたちも不安になると思います。目の前の教職員が心身ともに健康で、いつも笑顔でいることも、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるために大切なことであると考えます。業務改善等を進めることによって、子どもたちと教職員が笑顔でふれ合う時間が増えるように、また教職員自身もそれぞれの家庭や自分の時間を大切にすることができるようにしていきたいと考えます。

だれもが安心して過ごすことができる学校になるように、地域と保護者と関係諸機関と学校が協働できる環境づくりをめざしていきたいと考えています。今年度も引き続き、皆さまのご理解、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。